

医療と  
介護の連携

住み慣れた地域で、

最期まで自分らしい暮らし

◎問い合わせ 介護保険課 ☎23-2685



市の高齢化率は、31・95割（7月1日現在）。この数値は今後、さらに高まり、医療と介護の両方が必要人が増えると見込まれます。

このため市では、平成28年に三股町や都城市北諸県郡医師会と協働で都城市・三股町在宅医療・介護連携推進協議会（在宅ぼんちネット）を設立。住み慣れた地域で、高齢者が最期まで自分らしく暮らし続けることができるよう取り組んでいます。

### 在宅ぼんちネットの活動

在宅ぼんちネットは医療・介護に携わる職能団体と、福祉・市民団体・行政から構成されていて、地域課題の解決のための取り組みを進めています。2025年に向け、「安心して暮らせる医療と介護」をスローガンに、「地域包括ケアシステム」構築の実現を目指し、活動を進めています。



在宅ぼんちネットホームページ

### 「かかりつけ医」を持つ

医療や介護が必要となった際や日頃の健康管理のために「かかりつけ医」を持ちましょう。

「かかりつけ医」とは、健康に関することを何でも相談でき、必要ときは専門の医師・医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる医師のことです。「かかりつけ医」は自分で選択できます。健康な人も予防接種や健康診断などの機会を訪れた医療機関の中から、「かかりつけ医」を探しましょう。

また、医療機関の選択支援のため「医療機能情報提供制度（医療情報ネット）」が整備され、各医療機関の診療科目や対応可能な治療などの情報が公開されています。「かかりつけ医」を探す参考にしましょう。

なお、医師だけでなく、歯科医や薬局など、各分野で「かかりつけ」を持つことも大切です。



みやぎ医療ナビ

## インタビュー

### 元気なうちから、最期をどのように過ごしたいか考えてみませんか？



しあわせ出前講座講師  
一般社団法人  
都城市北諸県郡医師会  
在宅医療専門員  
主任・看護師

日高 みどりさん

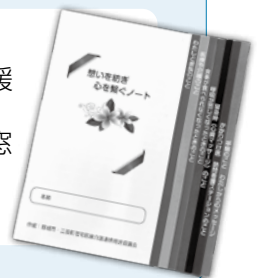
自分らしい人生の選択肢の参考になるよう、元気なうちの備えをテーマに在宅療養や人生会議、エンディングノートなどの内容の「しあわせ出前講座」を行っています。これまで各自治公民館を中心に、約700人以上の人に受講してもらいました。受講後は「もしものとき」のために、「家族と話し合いたい」「今から準備をしておこう」と前向きな声が聞かれ、講座をきっかけとした受講者の関心と意識の変化を実感しています。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、元気なうちから人生の最

期に備えることの重要性が注目されています。日頃から、自分らしい生き方について考え、大切な人やかかりつけ医・地域の専門職と共に、繰り返し話し合ってほしいと思います。講座では、それを書き留めるノートとして、都城市・三股町版エンディングノート「想いを紡ぎ 心を繋ぐノート」を配布しています。内容を厳選し記入する項目を減らすなど、書きやすい工夫を施しています。各自治公民館にエンディングノートと体験談集を見本として置いてありますので、ぜひ一度手に取ってみてください。

- しあわせ出前講座の申込  
在宅医療・介護連携相談支援センター  
(都城市北諸県郡医師会内)  
☎090-4980-7830  
※9~16時(土・日曜日、祝日を除く)

- エンディングノート配布場所  
在宅医療・介護連携相談支援センター  
介護保険課(オレンジ7番窓口)  
各地区地域包括支援センター



P8ひらがな計算(認知)の答え: 2、14、8、9、6